



進路だより

2023年 3月発行

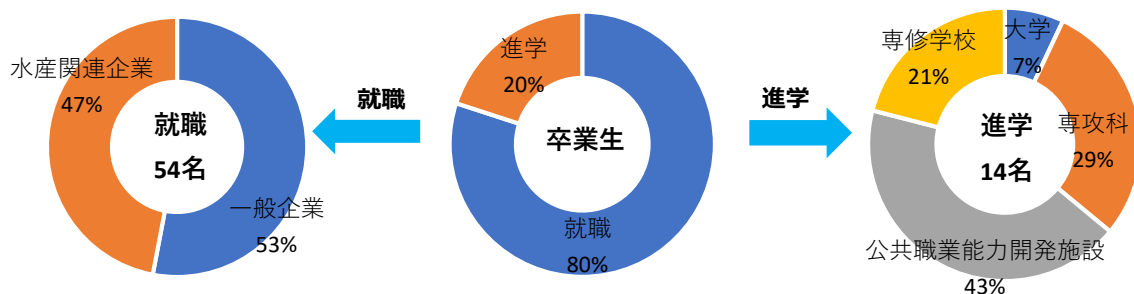


1 はじめに

近年の教育現場ではICT教育の重要性が高まっており、パソコン、タブレット等を活用した学習が拡大しています。そのような社会情勢の変化に伴い、進路指導部でも、従来の紙媒体での情報のやり取りを抜本的に見直し、書類作成に要する時間を効率化し、「求人票」「受験報告書」「進路の手引き」「進路情報」等のICT化を今年度より進めています。ICTの活用により、エビデンスに基づく進路情報の提供を促進することに繋がり、生徒も効果的に進路活動を進めることが可能になります。今後、進路指導部としては生徒一人ひとりの進路実現に向けたICTの環境をより一層整備していきたいと思ひます。

2 進路状況

今年度の3年生の進路状況は、下のグラフのとおり、就職8割、進学2割という比率でした。就職については1回目の就職試験で、約9割の生徒が希望した企業から内定を頂き、そのうちの約5割の生徒が、水産関連企業へ従事することになりました。進学については、約7割の生徒が水産海洋分野のある学科への合格を果たしました。特に海技士免状取得を目指す国立海上技術短期大学校（公共職業能力開発施設）や他県の専攻科（岩手県立宮古水産高等学校、沖縄県立沖縄水産高等学校）への進学が増加しました。たくさんの人々に支えられ進路実現ができた事実を忘れずに頑張っていってほしいと思ひます。



3 進路決定までの流れ

①就職

- 7月1日 求人票受付開始
- 7月 求人票の検討 3者面談 会社見学
- 8月 志望先決定 校内選考会 履歴書の作成 面接指導
- 9月1日 応募書類発送
- 9月16日以降 入社試験

※公務員希望者は、テキストを購入して勉強を始めましょう。無料の公務員講座などもあります。

②進学

- 4月～6月 希望する学校の検討（学部、学科、受験方法）
- 6月～8月 オープンキャンパスへの参加 ※参加が受験の条件になっている場合があります。
- 8月～9月 志望校の決定と入学願書の作成
- 9月～10月 入学願書の提出

受験先のホームページを必ず確認をして下さい。※詳しくは、**進路の手引き**を見て下さい。

4 第3学年の担任の先生方より (1. 2年生へ向けてのアドバイス)

海洋技術科3年担任
厚谷 綱良 先生



海洋食品科3年担任
江幡 友子 先生



海洋産業科3年担任
西城 寛孝先生



1. 海洋高校生として自覚と誇りを持つ

「やればできる」自信を持たないとスタートできない。

2. 常に自分の進路について考える

1年生は地道に勉強、資格取得

2年生は企業・進学先見学、海技士試験挑戦5月開始

3年生の4月は進路先を決めていて行動

3. 日々の授業や資格取得、部活動の重要性を認識する

進路を考えていれば、日々の授業、生活への取り組みが変わる。

4. 欠席・遅刻を少なくする、礼節を重んじた行動ができる

進路を意識した生活で、そのようなことは当たり前。

5. 自分を知る

まずは自分はどのような人物なのか理解することができて初めて、自分にあった進路を見つけられると思います。

1. 欠席をしない

欠席が多いと就職、進学に不利です。休まないようにしましょう。

2. 早めの対策を！

進路の準備は早ければ早い方がいいです。1年生から資格取得や就職希望の人は、就職試験対策問題を解くなど準備してください。過去の求人票を見るなど情報収集も早めにしてください。

3. 担任の先生や保護者の方と報告・連絡・相談を密にしよう

進路先の決定や進路関係の書類の提出期限など様々あります。情報は共有しましょう。

1. 自分の進路は自分で決める

「進路どうするの？」と聞くと「わからない」「まだ決めてない」という答えが多いです。あなたの人生を決めるのは親でも先生でもなく、「あなた」です。

わからないままにせず、自分のことは自分で考えて、決めてください。

2. 感謝の気持ちを持つ

今までお世話をしてくれた人、これからお世話をしてくれる人は、あなたに頼まれていること以上のことを見えないところでやってくれています。その人たちに常に感謝の気持ちを忘れずに生活してください。その感謝の気持ちがいい方向に転がるコツです。